



開通を記念し、テープカットをする関係者



オープニングを飾ってくれた神在幼稚園の園児による演奏



万歳三唱。音頭は平松秀昭会長



式典を盛り上げてくれた総社南高校吹奏楽部の演奏

式典終了後には、祝賀行事を実施。平成25年に文化勲章を受章した市内在住のかな書家高木聖鶴さんと、漢字書家の高木聖雨さんが揮ごうした新総社大橋の橋名板を、今年の高木聖鶴児童生徒競書大会の高木聖鶴賞受賞者【小鍛治菜子さん（総社中央小1年）、川西杏咲さん（常盤小2年）、平松瑞菜さん（総社西小6年）、柴田陽花里さん（総社東中2年）】の4人が除幕。その後、関係者による

テープカットが行われ、総社南高校の吹奏楽部が軽快なプラスバンドの演奏で会場を彩るなか、祝砲を合図に市旗を手にした女性消防団員、三世代親子、神在幼稚園児、常盤幼稚園児、地元住民らが参加し、渡り初めが行われ、開通を祝いました。

橋名板を除幕する柴田陽花里さん、小鍛治菜子さん、川西杏咲さん、平松瑞菜さん。（写真右から）



# 祝 新総社大橋開通 新たなグラウンドデザインを描く 起爆剤に



旧総社市、山手村、清音村が合併したことを機に市が整備してきた市道清音神在本線（清音柿木―富原）が完成し、6月25日、新総社大橋が開通式が行われました。

式典には地元住民や地権者ら約500人が参加。市長は、「橋の重要性を高め、有効活用し、新しいまちづくりをしていきましょう」とあいさつをしました。

式典のオープニングには神在幼稚園の園児22人が歌とダンスで、式典の最後には総社市自由枠交付金地域づくり協議会の平松秀昭会長が万歳三唱で会場を盛り上げてくれました。